



## REST API を使用してタスクを実行する

- [Cisco ACI 仮想エッジへの移行 \(1 ページ\)](#)
- [VMware vSphere Proactive HA による Cisco ACI 仮想エッジの可用性の向上 \(3 ページ\)](#)

### Cisco ACI 仮想エッジへの移行

#### REST API を使用して Cisco AVS VMM ドメインを Cisco ACI Virtual Edge に移行する

Cisco AVS から Cisco ACI Virtual Edge に移行する前に、ホストと VM で VMM ドメインの準備ができていない必要があります。VMM ドメインは、REST API を使用して移行することができます。この方法は、手動でほとんどの Cisco AVS ドメインの設定を再現する必要がある新しい VMM ドメインの作成よりも、簡単です。



(注) 移行できる Cisco AVS VMM ドメインは、一度に 1 つだけです。

#### 手順

名前、作成する Cisco ACI Virtual Edge ドメインの名前、およびユーザアカウント情報を入力して、Cisco AVS VMM ドメインを移行します。

以前の Cisco AVS のユーザアカウント情報として、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。オプションとして、新しい VLAN プールを指定します。

#### 例：

次の例では、prod-avs という名前の Cisco AVS ドメインを ave という名前のドメインに移行します。また、Cisco ACI Virtual Edge ドメインの VLAN プールも作成します。

```
{{ifc}}/mqapi2/migrateVMwareDomain.xml?name=prod-avs
<vmmDomP dn="uni/vmmp-VMware/dom-ave" name="ave" enableAVE="true" >
  <vmmUsrAccP name="adminAcc" usr="administrator@vsphere.local" pwd="In$1eme1" />
```

```
<infraRsVlanNs tDn="uni/infra/vlanns-[inst_pvlan]-dynamic"/>
</vmmDomP>
```

デフォルトでは、Cisco AVS ドメインからのすべての EPG が、新しいドメインに自動的に関連付けられます。EPG の関連付けを行わない場合には、`migrateEPGs = false` パラメータを追加します。

Cisco AVS ドメインの EPG を新しい Cisco ACI Virtual Edge ドメインに関連付けても、元の関連付けは削除されません。

### 次のタスク

本ガイドの [Cisco ACI vCenter プラグイン](#) を使用して Cisco AVS から Cisco ACI Virtual Edge に [移行する](#) のセクションの手順に従います。

## REST API を使用して VDS ドメインを Cisco ACI Virtual Edge へ移行する

### 始める前に

VMM ドメインを作成しておきます。[Cisco ACI Virtualization Guide](#) の「VMM ドメインプロファイルの作成」の手順を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** マルチキャスト アドレス プールを作成していない場合は作成します。

例：

```
<polUni>
<infraInfra>
  <fvnsMcastAddrInstP name="mcast1">
    <fvnsMcastAddrBlk name="mcastrange" from="225.2.1.1" to="225.2.1.100"/>
  </fvnsMcastAddrInstP>
</infraInfra>
</polUni>
```

**ステップ 2** VMM ドメインで `enableAVE=true` 設定し、マルチキャスト アドレス プールを VMM ドメインに関連付けます。

例：

```
<polUni>
<vmmProvP vendor="VMware">
  <vmmDomP name="mininet" enableAVE="true">
    <vmmRsDomMcastAddrNs tDn="uni/infra/maddrns-mcast1"/>
  </vmmDomP>
</vmmProvP>
</polUni>
```

# VMware vSphere Proactive HA による Cisco ACI 仮想エッジの可用性の向上

## REST API を使用して vSphere Proactive HA を有効にする

REST API を使用して、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) のいくつかのタスクを実行できます。

- ホスト可用性保証を有効にします。これにより、VMware vCenter に存在する vSphere Proactive HA プロバイダー オブジェクトが作成されます。このオブジェクトを使用すると、VMware vCenter は動作していない Cisco アプリケーションセントリック インフラストラクチャ (ACI) 仮想 Edge を持つホストを隔離し、その VM を移動できます。
- VMware vCenter が稼働していない Cisco ACI Virtual Edge を持つホストを検疫し、VM をホストから移動するまでの期間を設定します。



(注) Proactive HA がすでに設定されている状態で Cisco ACI Virtual Edge クラスタにホストを追加し、Cisco ACI Virtual Edge VMM ドメインにホストを追加またはホストをアタッチするとき、それらのホストはある状況かでは適切に動作しない可能性があります。Cisco ACI Virtual Edge または OpFlex がダウンしたとき、Proactive HA でホストが適切に動作しない可能性があります。ホストのヘルス ステータスが Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) で黄色に適切に設定されているにもかかわらず、ホストが検疫モードにならない可能性もあります。

この問題を修正するには、クラスタの Proactive HA を無効にして、再度有効にします。

### 手順

**ステップ 1** ホスト可用性保証を有効にします。

```
{{ifc}}/api/node/mo/.xml
<polUni>
  <vmmProvP vendor="VMware" >
    <vmmDomP name="mininet" hvAvailMonitor="yes">
  </vmmDomP>
</vmmProvP>
</polUni>
```

**ステップ 2** Cisco ACI Virtual Edge タイムアウトを設定します。

```
{{ifc}}/api/node/mo/.xml
<polUni>
  <vmmProvP vendor="VMware">
    <vmmDomP name="mininet" aveTimeOut="10">
  </vmmDomP>
```

```
</vmmProvP>
</polUni>
```

10 ～ 100 秒の任意の値を選択できます。デフォルトは 30 秒です。

### 次のタスク

VMware vCenter で VMware vSphere Proactive HA 機能をまだ有効にしていない場合は、有効にします。このガイドの [VMware vCenter で vSphere Proactive HA を有効にする](#) セクションを参照してください。

特定のホストの状態を設定して、Cisco ACI Virtual Edge の状態に基づいてデフォルトの状態を上書きできます。 [ESXi ホストのヘルス レベルの手動設定](#) の項を参照してください。

## REST API を使用して REST API 仮想エッジで状態を設定する

### 始める前に

Cisco ACI Virtual Edge を含むホストが必要です。

### 手順

ホストの状態を設定します。

```
{{ifc}}/api/node/mo/.xml
<polUni>
  <vmmProvP vendor="VMware">
    <vmmDomP name="mininet">
      <vmmCtrlrP name="vc65.xyz.com">
        <vmmHvAvailPol>
          <vmmHvDesiredSt host="172.23.143.228" state="yellow"/>
        </vmmHvAvailPol>
      </vmmCtrlrP>
    </vmmDomP>
  </vmmProvP>
</polUni>
```

## REST API を使用して VM グループ保護を設定する

REST API を使用して、Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) 仮想エッジホストが動作を停止した場合に、特定の VM グループを動作中のホストに移動することができます。

### 始める前に

VMware vCenter で VM グループを設定し、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) で vSphere Proactive HA を有効にする必要があります。

## 手順

---

VM グループ保護を設定します。

例：

```
<polUni>
<vmmProvP vendor="VMware">
  <vmmDomP name="mininet" hvAvailMonitor="true">
    <vmmCtrlrP name="vc65.xyz.com">
      <vmmHvAvailPol>
        <vmmProtectedVmGroup
tDn="comp/prov-VMware/ctrlr-[mininet]-vc65.xyz.com/hvcluster-domain-c94/vmgroup-vm01"></vmmProtectedVmGroup>

        </vmmHvAvailPol>
      </vmmCtrlrP>
    </vmmDomP>
  </vmmProvP>
</polUni>
```

上記の例では、次の点に注意してください。

- `vmmProtectedVmGroup` の `tDN` プロパティは、`compVmGroup` (vCenter インベントリから取得される VM グループ) の `dn` プロパティです。
  - GET:`https://{apic}/api/node/class/compVmGroup.xml` を介して `compVmGroup` のリストはクエリできます。
-

